健康とくらし

第295号　2024年1月

発行責任者：大塚　研二
岐阜健康友の会
岐阜市北山1丁目13番11号
事務局／TEL（058）244－3522
FAX（058）215－7877
E-mail　tomonokai@gifu-min.gr.jp

2023年10月末日現在
会員数：10,936人
基金人数：1,857人
基金合計：5億1994万8千円

●会員変更は下記へ
ご連絡ください
☎058（241）2018

新年あけましておめでとうございます。岐阜勤医協基金のご協力をお願いします。

医療法人　岐阜勤労者医療協会
理事長　松井　一樹

新年あけましておめでとうございます。

昨年6月1日より岩井先生より理事長を交替し、みどり病院長を兼任しております。

さて、この原稿を書いている時点で清水寺の2023年『一文字』は発表されておりませんが、私は『禍』を考えました。

世界は、『コロナ禍』から『戦禍』へ、国民は『政禍』のひどい状況の中に追いやられています。

このひどい状況を変えるために、国民の声と選挙でこの『禍』を打ち破りましょう。

そんな『禍中』ではありますが、いよいよ、新みどり病院が本年5月に『地域に開かれた、みんなにやさしい病院』をスローガンに、オープンします。それに先立ち、4月中旬には内覧会を予定、詳細はまたお知らせいたしますのでご期待ください。

『選挙で投票、病院に基金』を第二スローガンに、今年もよろしくお願いします。

5月の開院は希望の実現です

岐阜健康友の会　会長　大塚　研二

新年おめでとうございます。いよいよ新病院での診療開始の年になりました。3月に建物竣工、4月に内覧会、5月に開院です。2020年5月に、2024年春のオープンをめざし、みどり病院のリニューアル（新築移転）の準備の開始を決定し、2021年度に実施設計を、2022年10月に病院本体の建築工事を始め、コロナ禍の困難にも見舞われながら、待望の**「地域にひらかれたみんなにやさしい病院」**がスタートします。

【共同の取り組み】

職員、健康友の会会員、地域の皆さんの共同の取り組みが新病院建設の成功を支えてきています。各地でのリニューアル説明会、地域へのポスティング（困りごとアンケートの実施、新病院の紹介と「健康友の会」入会呼びかけ、健康まつりの案内などのチラシ配布）、様々な団体へ支援の依頼、集会での協力の呼びかけなどの企画と準備に取り組み、多くの皆さんの参加を得たことが推進力となってきました。また、建設運動を広げるための塗り絵やタイルアートの企画は、新病院づくりへ参加する思いをつなぎ、子どもから大人まで多くの応募がありました。民医連の施設の理念や特徴を語り、新しい仲間を増やしてきたことも、ここまでの取り組みの成功の礎となっています。

新病院の建設をアピールするのに、みどり病院リニューアル推進ニュース「希望と笑顔」（10月25日号でVol.38）の発行、「岐阜健康友の会公式LINE」の開設が大きな役割を果たしています。公式LINEの登録者を一層広めましょう。

【もう一回り、二回りの運動を】

新病院の開院は私たちと地域の皆さんの希望の実現です。この5月の開院を喜びあうために、もう一回り、二回りの運動を展開しましょう。支部での話し合いを続け、健康友の会への入会を幅広く勧め、より多くの健康友の会の会員の皆さんの参加で、地域訪問活動を広げ、つながりのある団体・個人に働きかけ、勤医協基金の目標達成をめざしましょう。

来年には歯科診療が始まります。歯科診療の開始の後押しにもなるのがみんなの希望の実現です。

今年もお薬相談会やります！

一般社団法人　ファルマネットぎふ　代表理事　中澤　千寿

みなさま、新年あけましておめでとうございます！

昨年も多くの方に薬局をご利用いただき、ありがとうございます。皆さまとの信頼関係があってこその薬局活動であり、これからも、より一層お役に立てるよう頑張ってまいります。

昨年の秋、コロナ禍で出来なかった「おくすり相談会」を、地域の薬局と共同で開催することが出来ました。多くの方にお越しいただき、お薬に関するさまざまなご質問やお悩みをお聞かせいただきました。お薬に関する正しい知識や理解は、健康な生活を送るために非常に重要です。おくすり相談会を通じて、皆さまが安心してお薬をご使用いただけるよう、お手伝いできたことを嬉しく思っています。今年も相談会を企画していますので、楽しみにしていてくださいね。

今年も地域の皆さまにとって健康で安心してお過ごしいただけるよう、全力でお手伝いさせていただきます。何かお困りのことやご質問がありましたら、お気軽にお立ち寄りください。

健康春秋

今年7月23日、各務原市は2020年11月、市内七万五千人に水を供給している三井水源地からPFAS濃度が水道水の暫定基準値を大きく超えていたことを発表▲このPFASは、有機フッ素化合物の総称で四万七千以上の種類があり、このうちPFOAとPFOSの2種類は使用が禁止になっていますが、泡洗剤の成分として基地などに使われていました。今回は岐阜基地が汚染源として疑われています▼このPFASの問題で、メーカーであるアメリカのデュポン社を告発した映画「ダークウオーターズ」が上映されていました。その映画の基になったのが※「毒の水」という本です。デュポンによるPFAS汚染の裁判を20年間闘った弁護士の地道な闘いの記録です▼早くからPFAS汚染水を垂れ流しをし、自社の製造メーカーラインで働いていた女性達が異常児を出産している事などを隠蔽し、裁判をいたずらに長引かせた企業体質は、日本での水俣病の原因となる有機水銀を垂れ流したチッソの企業体質と酷似しています。同時にこの2つは企業城下町として住民が告訴できる困難も共通していました▼実はPFASは私たちの暮らしの中に浸透しています。この問題は根が深く解決には長い時間が必要なようです。（K）

※ロバート・ビロット著　花伝社